

令和7年度 栃木県中学校新人体育大会卓球大会要項

- 1 日時 10月17日（金）団体の部 8:30頃 集合・開館 9:30頃 開始
10月18日（土）シングルスの部 8:30頃 集合・開館 9:30頃 開始

- 2 会場 17日（金）日環アリーナ栃木 18日（土）清原体育馆

3 参加資格

- (1) 県中体連加盟の学校に在校し、競技要項により参加資格を得た者。
(2) 参加する生徒は、学年・修業年限が一致していること。ただし、その年度の大会1ヶ月前までに、地区中体連を通じて県中体連に申し出、承認を得た生徒についてはその限りではない。
(3) 地域クラブの参加に関しては、別紙栃木県中体連卓球競技部の細則の資格を満たしているチームであること。

4 団体の部

- ① 地区予選通過の男女各28チーム。ただし、総体でベスト4の学校のある地区は枠外とする。

総体 優勝	男子	中学校	女子	中学校
準優勝	男子	中学校	女子	中学校
3位	男子	中学校	女子	中学校
3位	男子	中学校	女子	中学校

- ② 宇河(男6女7) 鹿沼2 日光(男2女1) 芳賀3 下都賀(男5女6) 塩谷(男2女1)
那須3 南那須1 佐野2 足利2

5 シングルスの部

- ① 地区予選通過者男女各112名。ただし、夏の大会で**16位以内に入った1,2年生は枠外(個人シード)、32位以内に入った1,2年生は地区への出場枠(地区シード)**とする。

- ② 宇河(男25女26) 鹿沼7 日光6 芳賀12 下都賀21 塩谷(男8女6)
那須13 南那須4 佐野(男8女9) 足利8

6 競技方法

- (1) 団体の部(若番が進行側のベンチ), シングルスの部それぞれ男女別トーナメントとする。
(2) 現行の日本卓球ルールを準用する。
(3) **4単1複** (単と複にでる選手は重複できない) ※日卓協、及び関東競技部会のガイドラインに従う。
(4) 1チーム10名以内とする。

7 申込方法

- (1) 10月2日（木）17:00までに、「申込書」と「職印入り申込書pdf」と「部活動指導員・外部指導者確認書pdf（様式B・様式2）」を所定のアドレス(tochigi.jhs.table.tennis@gmail.com)にメールすること。（地区理事申込書、各チーム申込書とともに同日）
(2) 地区理事シングルス申込書は、ランキング上位者より記入すること。

8 代表者会

- (1) 日 時 10月7日（火）午後1時30分
(2) 会 場 宇都宮市横川地区市民センター 学習室
(3) その他 地区理事の先生は必ず出席すること（印鑑を持参する）。不参加の場合、代理を立て、委員長に必ず連絡をすること。

9 ルール

- 日本卓球ルール硬式（現行ルール）を準用する。

10 使用球

- ニッタク、VICTAS、バタフライのホワイトボールとする。

11 服装

- (1) 上衣、下衣とも日本卓球ルールで認めたもの。団体の部では、登録選手全員がユニフォームを揃えること。
(2) ゼッケンは必ずつけること。
(3) 用具はJ・T・T・A・Aのマークの入っているものに限る。
(4) すべての面で中学生として誇りをもてるような態度・行為をとること。
※これに反した者は大会参加を認めない場合もある。
(5) 各学校のアドバイザーの人数は、シングルスにおいては選手以下、ダブルスにおいては組の数以下とする。
(6) ユニフォームにクラブチーム名が入ったものは認めない。

12 外部指導者について（すべてにおいて、所属校長の承認を得ること。）

外部指導者の規定については中体連が定めたものに従うこと。ただし、下記の内容については例外とする。

- (1) 複数の学校でのコーチとしての申請及びベンチ入りについては、その外部指導者が顧問と協力して日頃から継続的にその複数の学校の生徒の指導に当たっている場合は例外とする。
(2) 他校（小・高）の教職員のコーチとしての資格については、その教職員が顧問教師と協力して日頃から継続的に指導に当たっている場合には、次の範囲内で資格を認める者とする。
① 休日及び長期休業中とする。
② 外部指導者の所属校長と、指導を受ける生徒の所属校長の承認を得た者。
(他校教職員外部指導者申請書を提出する事)

- (3) 外部指導者は何らかの傷害保険に加入しておくこと。

- (4) アドバイザーは、**成人（20歳以上）**とする。

13 その他

- 各部門とも3位まで表彰する。
※本大会の団体戦の結果によって、その年度の優勝校を全国選抜へ、ベスト8を関東選抜へ推薦する。翌年度の北関東大会へはベスト4を推薦する。

14 会場費として団体1チーム 1000円 シングルス1人 200円